元データ

その他の関数 ⑤

	А	В	С	D	E	F	G	
1	開催月	開催場所	参加人数		開催場所	開催数	参加人数	
2			33		A会館			
3			18		B会館			
4			24		C会館			
5			19		合計			
6			27					
7			16		開催月	開催数	参加人数	
8			14		1月			
9			26		2月			
10			18		3月			
11			17		4月			
12			21		5月			
13			13		6月			
14			29		合計	元デー	-タが入力で	き
15			13			完成1	イメージを参	照
16	合計					みまし	ノよつ。	
17								

1 / 4

完成イメージ

	А	В	С	D	E	F	G
1	開催月	開催場所	参加人数		開催場所	開催数	参加人数
2	3月	A会館	33		A会館	6	126
3	1月	C会館	18		B会館	3	80
4	4月	B会館	24		C会館	5	82
5	3月	A会館	19		合計	14	288
6	6月	B会館	27				
7	2月	C会館	16		開催月	開催数	参加人数
8	2月	A会館	14		1月	2	39
9	5月	A会館	26		2月	3	43
10	4月	C会館	18		3月	3	69
11	3月	C会館	17		4月	2	42
12	1月	A会館	21		5月	1	26
13	2月	C会館	13		6月	3	69
14	6月	B会館	29		合計	14	288
15	6月	A会館	13				
16	合計	14	288				
17							

手順

① E2~E4 と E8~E13 に入力された文字列を使用して、A2~A15 と B2~B15 にプルダウンを作成し、完成イ

メージを参照に入力しましょう。

- ② 関数を使用して、B16 に開催数の合計を表示しましょう。
- ③ 関数を使用して、C16 に参加人数の合計を表示しましょう。
- ④ 関数を使用して、F2 に A 会場の開催数を表示し、F3 には B 会場、F4 には C 会場の開催数が表示されるように コピーしましょう。
- ⑤ 関数を使用して、G2 に A 会場の参加人数を表示し、G3 には B 会場、G4 には C 会場の参加人数が表示されるようにコピーしましょう。
- ⑥ 関数を使用して、F5 には開催数の合計、G5 には参加人数の合計を表示しましょう。
- ⑦ ④~⑥と同じように、関数を使用して、開催月に対する開催数・参加人数・合計を表示しましょう。
- ⑧ 完成イメージを参照に中央揃えにし、罫線を引き、セルを塗りつぶしましょう。